

令和6年度強歩大会開催 暑さに負けず全校で走り抜ける

千西一遇

第115号
発行
2024年
6月28日(金)
上田西高 校会
新聞委員
編集局
編集局長：田村さくら
新聞委員長：金井 茉優
大田すみれ
佐藤 雪路
小林 さら
塚田 礼
齋藤 慈生
レイアウト：田村さくら



先頭集団を形勢する陸上部・サッカー部の男子生徒たち

コラム 終了後のクラス交流会

実情に合わせて様々な形を

上田西高校では強歩大会後、中庭で各クラスパーベキューが伝統的に行われてきたが、コロナ禍で途絶えていた。今年度は5年ぶりに、3年1組・5組・7組が企画し中庭ではクラスの親睦を深め疲れを癒す生徒の姿が見られた。参加した生徒からは「最後の強歩大会で記憶に残るいい思い出が作れた」「走る時のモチベーションにつながった」との声が上がり、実際パーベキューを実施したクラスは上位入賞を果たした。パーベキューを企画しなかったクラスの生徒からは「羨ましかった」という話も聞えてきたが、お弁当を注文した慰労会を実施したクラスやピザやアイスを注文したクラスもあり、交流の形はそれぞれだ。また、パーベキュー実施のハードルは以前より高くなっている。強歩大会が平日開催になったため保護者の参加が困難に。大会にかかると先生もいることから実施が困難なクラスもある。実施の有無に差が出てくると、生徒の不満が担任に向く

4月26日(金)に令和6年度強歩大会が開催された。今年度も天候に恵まれ、晴天の中で今年度最初の行事を迎えた。仮設校舎が建てられた影響で例年と距離に違いが出てしまふというところでグラウンド一周がコースに含まれる過去にないスタートとなった。強歩大会終了後にはクラスごとに親睦会が開かれ、クラスの仲を深めた。(金井 茉優)

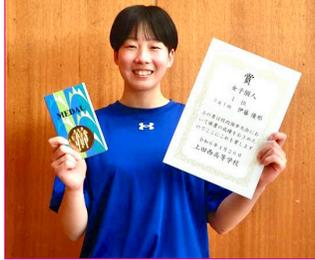
今年度の強歩大会は、管理館工事のため仮設校舎が設置された影響で例年使っていたスタートとゴールが異なる、サッカーグラウンドからスタートするという例年と異なった形式での開催となった。体育科主任の大塚雅也先生は、仮設校舎があった事で「例年とはちがう対策を準備しなければいけないことが多くとても大変だった」と話した。トラックを一周させることで人を分散させ信州ハム側の出口付近で詰まったり、転倒する可能性を防ぐことや、年々暑さが増しているため、より一層暑さ対策に力を入れるなど生徒の安全を第一に考えた。

強歩大会を振り返って体育委員長の林美緒さんは、「不備なく強歩大会の可能性もある。強歩大会よりもパーベキューを中心に捉えてしまふ生徒もいて、実質「焼肉大会」になってしまふ」ということも。本来の目的は慰労と交流なので、伝統を継承しつつそれぞれのクラスの実情に合わせて大会が開催できればと思う。(田村さくら)

入賞クラスで例年と異なる運営に
会を開催することができた」と事前準備の大切さを語った。また、上手くいかなかった事として「開会式と閉会式時に整列に時間がかかってしまった」と振り返った。
例年とは違った形式での開催となったが、体育科主任の先生や体育委員長など多くの人の力が集まり、色々な対策や事前準備を行なった事で大きな問題もなく全校で盛り上がる強歩大会となった。(齋藤 慈生)

入賞クラス	
1位	3年5組
2位	2年4組
3位	2年1組
4位	3年7組
5位	3年1組
6位	3年3組
7位	2年5組
8位	1年7組

個人入賞	
女子	男子
1位 伊藤 優那 (女子バレーボール部)	1位 清水 颯太 (陸上部)
2位 三浦 優姫 (女子バスケットボール部)	2位 金子 倅大 (陸上部)
3位 工藤 和呼 (女子バスケットボール部)	3位 藤森 大和 (陸上部)



女子個人優勝の伊藤優那さん



男子個人優勝の清水颯太さん

女子1位伊藤さん 3度目の正直で栄冠掴む
男子1位清水さん 三連覇に向けた第一歩

女子個人1位を取った3年1組伊藤優那さんは、女子バレーボール部では主将として東信大会優勝県大会ベスト16に大きく貢献した主力選手。「途中辛いこともあったがバレー部で培ってきた体力もあり最後まで全力で走ることができた」と語った。「1年生は3位で2年生で2位を取ったので最後の強歩大会は絶対1位をとると目標を掲げて挑んだ」と笑顔で話した。男子個人1位を取った1年7組清水颯太さんは第29回都道府県対抗男子

駅伝の長野県チームの優勝メンバーで、陸上部のエース候補。「1位はこれだ」と思っていたが、自分でも驚いていると共にも嬉しく感じている。三連覇を目指している。目標を掲げた。優勝できた要因について「中学でも陸上をやっていたのでトレーニングの成果が出た」と振り返る。また、「陸上部の先輩方が中盤まで先頭を引っ張ってくれたことも大きな要因だ」と謙虚な姿勢で話した。(田村さくら)



入賞クラスの代表者

コロナ明けの生徒会行事 制限を設けていた各行事本来の形式取り戻す

生徒会行事が多く行われた新年度の4月・5月。生徒総会、リーダー研修会、壮行会と立て続けに行われた。どの行事も昨年度とは違い、「コロナ禍以前と同様の形で完全に制限のない開催が可能となった。主体となって動き続けた生徒会役員らの想いが詰まる各行事に迫った。(金井 茉優)



今年の生徒総会は全校が体育館に集まる形式を5年ぶりに取り戻した

生徒総会 顔見合わせ意見出し合う

4月18日(木)に令和6年度生徒総会が開かれた。今年度は5年ぶりに全校生徒が体育館に集まる形で実施された。

会の冒頭では生徒会長から「前進」という生徒会テーマが発表され、今年度の生徒会活動方針が提案された。それに続き各委員会の年間活動方針も発表された。その後、各委員会に事前に寄せられていた質問・意見に対する回答が行われた。多くの意見が寄せられ、生徒会活動がより活発

なものとなるだろう。過去4年間はリモートで生徒総会を行っていた。今年度もオンラインでの開催を考えていたが、「コロナが5類へ移行されたことや生徒総会が生徒会の活動方針などを全校生徒に承認してもらう重要な会であることを鑑み本来の形へ戻した。

今回の生徒総会では、ステージを使わない形の会場設営に際し、全校生徒全員が見えやすいように配置を工夫した。顔を合わせて行っ

たことでより討議が捗っただろう。生徒総会を終え、生徒会顧問で生徒総会の担当職員である帯刀秀幸先生は、「生徒総会をスムーズに実施できた」と話した。一方で、「時間が余ってしまったので来年度以降は今年度の反省を生かして質疑応答の時間を増やすなどの改善が必要だと感じた」と続けた。今回の生徒総会によって生徒会活動への理解が深まったことだろう。(佐藤 雷路)

4月27日にリーダー研修会が開かれた。リーダー研修会では各クラス2名以上が参加し、西高祭の説明や模擬討論、コミュニケーションなどを通じてリーダーに必要な力を学ぶと共に西高祭への理解を深めた。西高祭実行委員長の坪根夢歩さんは「西高祭でみんなが楽しめるように準備過程の基礎を身につけられる会にできたと思う」と話した。(田村まこと)

コラム 暗黙のルール撤廃に向けて

高校文化祭のクラスTシャツには暗黙のルールが存在しており上田西高校も例外ではない。山下智也生徒会長はこのルールの廃止を欠約に掲げて選挙に出馬した。

この「暗黙のルール」を撤廃することにはデメリットもある。ユニフォーム型のデザインは通常のTシャツに比べて金額が高い。1年生からユニフォーム型にする3年間トータルでTシャツに多くの費用がかかる。また、ユニフォーム型デザインの著作権についての議論もある。

先日、多くの3年生の集大成となる東信高校総体が開催され、上田西高校は出場した18の運動部全てが県大会へと駒を進めた。

これを受けて全校で行われた壮行会では生徒会吹奏楽部、チアリーダー部を中心に全校生徒から選手へとエールが送られた。また今年度から新たに

応援委員会が主催となりインスタグラムで「部活動応援企画」として試合結果を掲載している。この企画をするにあたり応援委員長の佐藤穂和香さんは「選手の頑張りを伝えていきたい。生徒間で大会を話題に話しているのを見てこの企画の意味を感じられた」と話した。(塚田 礼)

本来クラスTシャツにはデザインや形式等の制限がなく、各クラス自由に作成することが出来る。しかし、上級生からの圧力によって1年生はユニフォーム型のクラスTシャツを着ることができず背ネームも入れられないという暗黙のルールが生まれた。

山下会長は、批判されることを想定した上で暗黙のルール撤廃について全校に提言を行った。

「自分たちは我慢したのに」という思いがあることは山下会長自身も理解している。しかし、この問題を解決するにはどこかで寛容な心が必要になってくる。実際に、生徒総会の場を使い、「このルールをなくすためには皆さんの我慢が必要だ」と暗黙のルールについて全校に提言

もしかすると今すぐこのルールを廃止することは難しいのかもしれない。しかしこれを廃止したいという思いを引き継ぎ、少しずつ誰も理不尽な思いをしない環境で行事を楽しめるようになって欲しいと思う。(金井 茉優)



県大会出場選手を激励する応援団の生徒

県大会結果	
硬式野球部 準優勝	軟式野球部 準優勝
サッカー部男子 3位	
レスリング部	
学校対抗戦 優勝	
51kg 級中澤珀翔 (2年5組) 優勝	
55kg 級関直人 (3年4組) 優勝	
池上裕翔 (1年1組) 3位	
60kg 級依田晴樹 (3年5組) 優勝	
65kg 級堀内斗真 (2年5組) 2位	
80kg 級橋本宗幸 (1年4組) 優勝	
剣道部	
稲本瑛太 3位入賞 北信越大会出場	
陸上部	
400m 5位中村一輝 (2年) 北信越大会出場	
3000m 障害 4位 柏木健太 (3年)	
北信越大会出場	
その他入賞者多数	



リーダー研修会でテーマについて議論を重ねる参加者

西高に新しく赴任した11人の先生を紹介!

常勤非常勤講師合わせて11名の新任の先生が上田西高校にやってきました。
そんな先生方の個性豊かなプロフィールを紹介します!

これを機に是非新任の先生に話しかけて仲良くなってください!

- ① 担当教科
- ② 出身
- ③ 趣味
- ④ 西高での目標
- ⑤ 西高生へ一言



宮坂 颯人先生

- ① 国語科
- ② 上田市
- ③ 仮面ライダーを見ることが
- ④ 国語って面白いを一つでも多く作る
- ⑤ 仮面ライダーは大人向けです



山本 海晴先生

- ① 理科 (化学物理)
- ② 静岡
- ③ サウナ、スノボ、長風呂、Beer Bearを毎日とる
- ④ 恩師を超える理科の先生になりたいです
- ⑤ 一生に一度の高校生活青春を謳歌しましょう



安部さくら先生

- ① 美術科
- ② 高崎
- ③ 映画鑑賞
- ④ 授業が終わってからも美術を続けたいと思ってもらせるようにすること
- ⑤ これから暑くなって大変ですが弾けて盛り上がっていきましょう



宮入美智子先生

- ① 家庭科
- ② 千曲市
- ③ サッカー観戦、スイーツ食べる
- ④ 将来思い出してもっと豊かになるような生活を豊かにできる授業をする
- ⑤ 挨拶と感謝を忘れずに楽しく深く学びましょう!



長井 綾先生

- ① 英語科
- ② 信濃町
- ③ 海外旅行
- ④ 授業を通して生徒の皆さんに少しでも英語を好きになってもらう
- ⑤ 学校について分からない事があるので教えてください。一緒に楽しく勉強しましょう!



橋詰美弥子先生

- ① 国語科
- ② 上田市
- ③ 夜大型ショッピングモールをぶらぶらすること
- ④ 健康で過ごすこと、私も国語楽しみなからみんなと一緒に授業をしていきたいです
- ⑤ 元気な挨拶をありがとうございます



池田 雅美先生

- ① 英語科
- ② 上田市
- ③ 自転車
- ④ わかりやすい授業をすること
- ⑤ 勉強する時もスポーツする時も明るく楽しいと思ってもらいましょう



花岡 真穂先生

- ① 英語科
- ② 塩尻市
- ③ 自然の観察
- ④ 新しいことを知って学ぶこと
- ⑤ いつも元気なパワーをありがとうございます



菱川 容子先生

- ① 英語科
- ② 松本市
- ③ バイオリン、野鳥観察
- ④ 生徒と笑顔で元気に過ごすごこと
- ⑤ 元気にいつも挨拶してくれてありがとうございます



シオン・ファーネス先生

- ① 英語
- ② 香川 (生まれ) オーストラリア (育ち)
- ③ スポーツ、音楽、ビデオゲーム
- ④ 英語を学ぶことを楽しいと思ってもらえるような授業をすること
- ⑤ あなたは英語で僕を鍛えることができます!



石川 恭子先生

- ① 英語
- ② 上田市
- ③ 電子オルガン
- ④ ICT機器を使いこなせるようになりたい
- ⑤ 高校生活を思いきり楽しんでください